

事業報告

2025年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が一層軽減され、社会経済活動の正常化が進む中、健診事業、普及啓発事業、健康増進事業等を概ね計画どおり実施することができた。引き続き受診者の安全確保に配慮しつつ、円滑かつ安定的な事業運営に努めた。

巡回健診については、受診者数の減少傾向が継続している。市町村数や事業所数に大きな変動は見られないことから、人口減少や高齢化の進行に加え、受診行動等の変化が影響しているものと考えられる。

こうした状況の中、受診者サービスの向上を図るため、前年度に導入した現場情報収集システム（ハンディ健診）の活用を推進し、健診現場における検査データの正確性向上および業務の効率化に取り組んだ。

施設健診においては、受診者数は増加した。「女性の日」の拡充や受診勧奨の強化に加え、施設内環境の整備を進めたことで、受診しやすい体制の構築に一定の成果を得た。

情報処理事業については、特定健康診査および医療機関等からの検診データの処理件数が増加し、業務の安定的な運用と処理精度の向上に努めた。

健康増進事業では、地域および職域における健康づくりを支援するため、各種健康教室や講習会の開催を通じて普及啓発活動を展開した。

一方、少子高齢化や人口減少に加え、物価高騰等の社会的要因が事業運営に影響を及ぼす中、「高品質な保健サービスを持続的に提供する」という使命のもと、業務の効率化および経費削減に継続して取り組んだ。

具体的には、検診車両や健診機材の計画的な更新を進めるとともに、健康支援システムの活用により、より効果的な保健指導の実施体制を整備した。

また、管理業務においては、公益財団法人としての信頼性確保の観点から、財務に関する外部専門家による定期的な検査を継続実施した。給与事務等についてもシステム化を推進し、業務効率の向上とコスト削減の両立を図った。

以上のとおり、2025年度は事業環境の変化に対応しつつ、各事業の着実な推進とサービス品質の向上に努め、概ね所期の成果を収めることができた。

I 普及啓発事業

1 イベント・行事

（1）健（検）診担当者説明会の開催

市町村及び事業所の健（検）診担当者を対象に説明会を開催し、次のとおり講演と2025年度に向けた健（検）診及び健康増進・保健事業等の取り組みについて説明した。

日 時 2025年10月2日（木）

場 所 松本市浅間温泉文化センター（参加者118名）

講 演 演題「肝臓や脂肪に関連する健康課題と、日頃の健康診断

結果をどのように実務へつなげるか」

講 師 佐久市立国保浅間総合病院 外科部長・救急医療部長 尾形 哲先生

（２）第40回信州婦人健康のつどいの開催

結核等感染症の予防知識を習得するとともに、各婦人団体相互の連携による健康づくりに向けた活動を推進するため、長野県などとの共催により次のとおり実施した。

日 時 2025年9月25日（木）

場 所 ANCアリーナ（安曇野市総合体育館）メインアリーナ（参加者155名）

共 催 長野県、結核予防婦人会長野県連合会、長野県連合婦人会

講 演 演題「長野県の健康づくり

～信州ACEプロジェクトとずくだすガイド～」

講師 長野県 健康福祉部 衛生技監 西垣 明子 先生

このほか、参加者全員による体操、踊り等を行った。

（３）全国大会への参加

ア 公益財団法人結核予防会（以下「結核予防会」という。）主催の全国大会に参加した。

開催日 2026年3月18日（水）

開催場所 愛媛県松山市 ANAクラウンプラザホテル松山

大会テーマ 「昭和百年の歩み、愛媛から未来へ

～ 正岡子規の精神を踏襲 ～」

イ 公益財団法人日本対がん協会（以下「日本対がん協会」という。）主催のがん征圧全国大会に参加した。

開催日 2025年9月18日（木）～9月19日（金）

開催場所 兵庫県神戸市 神戸ポートピアホテル

大会テーマ 「ひょうごから 未来へつなげる がん対策」

（４）リレー・フォー・ライフジャパン信州長野への協力

長野市で開催した「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2025信州長野」に、日本対がん協会長野県支部として支援をした。

（５）信州がんプロジェクトへの協力

abn長野朝日放送と協賛各社が取り組む「信州がんプロジェクト」の番組制作に協力した。

2 広報紙・ポスター等の配布

（１）結核予防会が作成した結核予防週間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町

村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

結核予防週間ポスター	2,317枚
今こそ！正しく知ろう！結核と呼吸器感染症2025	2,317部
複十字	240冊

- (2) 全国結核予防婦人会が作成した冊子を健（検）診実施主体や関係機関等に配布した。

健康の輪	1,230冊
------	--------

- (3) 日本対がん協会が作成したがん征圧月間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

がん征圧月間ポスター	1,800枚
対がん協会報	490部

3 マスメディアの活用・協力

- (1) 啓発広告の掲載

新聞各紙に啓発広告を掲載し、がん予防や結核予防に関して県民の意識の高揚を図った。

がん征圧月間に関する掲載

9月2日（火）信濃毎日新聞

- (2) ラジオ放送

長野県医師会が作成し、毎週日曜日に放送しているSBC信越放送の「こんにちはドクター」に協賛した。

- (3) 有線放送

長野市南部を放送エリアとする更北有線放送の「みんなで進める健康づくり」の企画に「健診から始める健康づくり」をテーマとして、年間6回の放送に協力した。

4 関連団体との連携

結核予防会及び日本対がん協会

長野県支部として健（検）診事業及び普及啓発活動等を行うにあたり会議等に参加し、各支部との意見交換を行った。

結核予防婦人会長野県連合会

結核予防推進のため、事務局として会の育成に努めるとともに活動を支援し、複十字シール運動への協力など、結核の知識普及啓発及び最新情報等の収集を行った。

5 表彰

結核予防・生活習慣病予防功労者表彰

永年に亘り結核予防・生活習慣病予防に貢献された功労者に対し、理事長表彰を行った。

受賞者 中田 伸司 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野県健康づくり事業団が行う胃集団検診読影において、平成10年4月から令和5年まで25年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会に参画する等、読影技術の向上に努め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 清水 武彦 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野市が平成6年より開始した肺がん検診の読影において、平成12年4月から現在まで、通算25年間もの永きにわたり「長野市医師会肺がん検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期肺がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された肺がん症例を発表する症例供覧会にも参画する等、読影技術の向上に努め肺がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 大平 浄 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野市が平成6年より開始した肺がん検診の読影において、平成12年4月から現在まで、通算25年間もの永きにわたり「長野市医師会肺がん検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期肺がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された肺がん症例を発表する症例供覧会にも参画する等、読影技術の向上に努め肺がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 太田 輝夫 氏（池田町）

推薦者 池田町長

受賞理由 平成9年9月太田医院を開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的にご尽力いただいている。特に、特定健診・がん検診をはじめとする町の保健予防事業の効果的な推進のため、多大なるご協力をいただいている。また、結核・肺がん検診では、長年にわたり比較読影医として大北管内の結核・がん等の早期発見に貢献されている。現在も町の健診等の委託を受け、町民の健康を守るため健診業務をはじめ保健予防事業等に積極的に取り組んでいただいている。

受賞者 遠藤 良平 氏（大町市）

推薦者 大町市長

受賞理由 平成12年4月遠藤医院を開業以来、行政が実施する保健予防事業に積極的にご尽力いただいている。特に、特定健診・がん検診をはじめとする市の保健予防事業の効果的な推進のため、多大なるご協力をいただいている。また、市が実施する胃がん検診では、長年にわたり読影医として胃がん等の早期発見に貢献されている。現在も市の健診等の委託を受け、市民の健康を守るため、健診業務をはじめ保健予防事業等に積極的に取り組んでいただいている。

6 募金活動

（１）事業団会員

会員は、日本対がん協会の維持会員を兼ね、がん征圧運動の推進にあたっては、会員に対がん協会報及びパンフレット等の送付を行い、がん予防の知識普及を図った。

個人会員 189人 （年会費 1,500円以上）

団体会員 14団体 （年会費 5,000円以上）

名誉会員 6人 （事業団の活動に功績のあった者、又は10万円以上の寄附を行った者）

（２）複十字シール募金事業

結核や肺がんその他の呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会をつくるための事業資金の確保と、これらの病気に対する知識の啓発と予防知識の高揚を図るため、結核予防会が実施する複十字シール募金活動に協力した。

募金額 1,629,536円

7 協議会・委員会等への参加

地域、事業所等の協議会・委員会の保健分野において、健康に関する専門・支援機関として委員を派遣した。

長野県がん対策推進協議会

長野県がん検診検討協議会

長野県健康づくり推進県民会議

長野市食育推進審議会

佐久地区地域職域保健連携推進協議会

長野圏域地域保健・職域保健連絡会議

上伊那郡市保健師連絡協議会

Ⅱ 健診等事業

1 集団健診事業

(1) 結核検診

市町村、事業所及び施設の委託等を受け、胸部エックス線撮影による検診を検診車10台で実施し、受診者数は前年度比較で3,534人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	学生	施設	2025年度	2024年度	前年度比較
エックス線撮影	29,298	40,255	17,291	11,870	98,714	102,248	96.54%
検診日数	193	629	153	225	1,200	1,120	107.14%

(実施市町村数 29)

(2) 肺がん検診

市町村及び事業所の委託等を受け、胸部エックス線撮影（結核検診に使用する検診車10台共用）にハイリスク者の喀痰細胞診を併用する方式による肺がん検診と、肺がんCT検診をらせんCT検診車1台で実施した。

エックス線検査による受診者数は、前年度比較で1,671人減少した。肺がんCT検診は前年度比較で1,700人減少し、喀痰検査を含めた肺がん検診合計は、前年度比較で3,367人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2025 年度	2024 年度	前年度比較
エックス線検査	45,015	26,006	71,021	72,692	97.70%
検診日数	263	416	679	697	97.42%
要精検数	955	147	1,102	1,121	98.31%
要精検率	2.12%	0.57%	1.55%	1.54%	△0.01ポイント
喀痰検査	429	175	604	600	100.67%
要精検数	0	0	0	0	—
要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	—
C T 検査	12,955	91	13,046	14,746	88.47%
検診日数	159	2	161	169	95.27%
要精検数	430	4	434	580	74.82%
要精検率	3.31%	4.39%	3.32%	3.93%	△0.61ポイント
受診者合計	58,399	26,272	84,671	88,038	96.18%
検診日数	422	418	840	866	97.00%

(実施市町村数 エックス線検査 39、C T 検査24)

要精検者数は、国の指針によりD判定（肺がんを除く疾患疑い）を除き、E判定（肺がんの疑い）のみ記載。

（３）特定健康診査・一般健康診断

市町村国保の委託を受けた特定健康診査、事業所等の委託を受けた一般健康診断及び特殊健康診断を循環器健診車８台と一部ワゴン車による機器の持込で実施した。

市町村における特定健康診査は微減が続いているが、ほぼ計画どおり実施した。

前年度比較で特定健康診査では112人微減、一般健康診断では3,272人減となった。

（人）

区 分	特定健康診査			一般健康診断		
	2025年度	2024年度	前年度比較	2025年度	2024年度	前年度比較
受診者数	25,016	25,128	99.55%	68,392	71,664	95.43%
心電図	20,298	20,363	99.68%	53,603	57,186	93.73%
眼 底	9,669	9,441	102.41%	18,525	18,979	97.61%
肝炎ウイルス	2,972	3,154	94.23%	3,571	3,819	93.51%

（実施市町村数 21）

市町村の協力のもと、市町村国保特定健診の会場で社会保険等加入者776人の特定健診を実施した。

一部事業所では一般健康診断に併せて、有機溶剤、特定化学物質等の業務に従事する労働者に対する特殊健康診断をのべ14,200人実施した。

（４）学校心臓検診

市町村教育委員会の委託を受け、児童・生徒の学校心臓検診を循環器検診車又は心電計を持ち込み校舎内で検査を行う方法で実施した。

2025年度は順調に検診が行われ、高校の通信制（秋入学）の検診を除き、ほぼ学校保健安全法施行規則で定められている６月末でおおむね終了することができた。

受診者数は、児童・生徒の減少により前年度比較で951人減少した。

（人）

区 分	小学校	中学校	高校等	教職員	2025年度	2024年度	前年度比較
心電図	13,145	7,080	8,002	804	29,031	29,982	96.83%

（実施学校数：小学校152、中学校68、高校等51、小中一貫校5、中高一貫校5
支援学校1、計282校 高校等には養護6・盲1・ろう1の各学校を含む。）

（５）胃がん検診

市町村及び事業所の委託を受け、検診車７台（全車デジタル装置搭載）でエックス線検査（バリウム検査）を実施した。

受診者数は、前年度比較で1,954人の減少となった。

（人）

区 分	市町村	事業所	2025 年度	2024 年度	前年度比較
受診者数	17,953	9,182	27,135	31,522	86.08% ^[N1]
検診日数	508	724	1,232	1,315	93.69%
要精検数	1,206	502	1,708	1,944	87.86%
要精検率	6.72%	5.47%	6.29%	6.17%	0.12ポイント
*基幹システム外	340	802	1,142	1,236	92.39%
胃検診受診者数	18,293	9,984	28,277	32,758	86.32%

(実施市町村数59)

※ 基幹システム外はエックス線撮影のみで、読影及び結果処理は行わない。

(6) 大腸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、免疫学的便潜血検査2日法を実施した。

また、一部市町村が医療機関で実施する検診の検査及び結果処理を実施した。

受診者数増を目的として、他の健(検)診実施時や別日を設けた回収なども継続実施したが、受診者数は、前年度比較で4,323人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2025年度	2024年度	前年度比較
2日法受診者数	63,311	23,930	87,241	91,564	95.28%
要精検数	4,056	1,099	5,155	4,963	103.87%
要精検率	6.41%	4.59%	5.91%	5.42%	0.49ポイント

(実施市町村数43)

(7) 乳がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、超音波検査を検診車3台(うち1台は超音波装置2式搭載)で実施した。視触診・超音波検査は1村のみ実施している。

超音波単独検診の市町村数は変わらず、3事業所で検診を休止した。受診者数は、前年度比較で44人減少した。

マンモグラフィ検査は、市町村、事業所の委託を受けて、MLO(内外斜位方向)とCC(頭尾方向)の2方向撮影を検診車3台(全車デジタル装置搭載)で実施した。受診者数は、前年度比較で888人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2025年度	2024年度	前年度比較
視触診検診受診者数	50	0	50	48	104.17%
超音波併用件数	50	0	50	48	104.17%
検診日数	2	0	2	2	100.00%

	要精検数	1	0	1	2	50.00%
	要精検率	2.0%	—	2.0%	4.17%	△2.17 ^{ポイント}
超音波単独検診受診者数	検診日数	416	67	483	493	97.97%
	要精検数	331	58	389	457	85.12%
	要精検率	2.15%	2.74%	2.22%	2.60%	△0.38 ^{ポイント}
マンモグラフィ検診	検診日数	527	37	564	561	99.30%
	要精検数	994	59	1,053	1,283	82.07%
	要精検率	5.31%	4.73%	5.28%	6.15%	△0.87 ^{ポイント}
受診者合計	検診日数	945	104	1049	1056	99.34%
	要精検数	1,326	117	1,443	1,742	82.84%
	要精検率	3.88%	3.48%	3.85%	4.53%	△0.68 ^{ポイント}

(実施市町村数 視触診・超音波検診 49、マンモグラフィ検診55)

※マンモグラフィ検査の事業所の検診日数は、センター実施分を除き集計している。

(8) 子宮頸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、頸部細胞診を検診車2台で実施した。

受診者数は、前年度比較で694人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2025年度	2024年度	前年度比較
受診者数	9,988	2,722	12,710	13,404	94.82%
検診日数	215	52	267	281	95.02%
要精検数	109	44	153	209	73.21%
要精検率	1.09%	1.62	1.20%	1.56%	△0.36 ^{ポイント}

(実施市町村数 51)

(9) 前立腺がん検診

市町村の特定健診や事業所の定期健診で、問診と血液検査（P S A法）により、原則として50歳以上の男性を対象に実施した。

また、実施主体から要望のあった場合は単独検診として実施した。

受診者数は、前年度比較で518人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2025年度	2024年度	前年度比較
受診者数	9,011	5,797	14,808	14,290	103.62%
要精検数	607	269	876	804	108.96%
要精検率	6.74%	4.64%	5.92%	5.62%	△0.3ポイント

(実施市町村数 17)

(10) 骨健診

市町村、事業所の委託を受けて、超音波による踵骨の骨密度測定を実施した。

受診者数は、前年度比較で市町村は564人増加、事業所は94人増加し、全体では658人の増加となった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2025年度	2024年度	前年度比較
受診者数	3,732	1,115	4,847	4,189	115.71%
健診日数	42	15	57	53	107.54%
要精検数	571	46	617	567	108.82%
要精検率	15.30%	4.13%	12.73%	13.54%	△0.81ポイント

(実施市町村数 15)

(11) ストレスチェック事業

労働安全衛生法に基づき、労働者の心理的負荷の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を事業所の委託を受けて実施した。

受託団体数は、前年度より1団体増加したが、受検者数は1,074人減少した。

区 分	2025年度	2024年度	前年度比較
受託団体数	88	83	106.02%
受検者(人)	6553	7205	90.95%

(12) 2024年度のがん検診事業による発見がんの状況

各種がん検診で発見されたがん症例について、県医師会、手術医療機関などの協力を得て追跡調査を実施し、検診精度の向上に努めた。

(人)

区 分		2024年度発見がん数			2023年度発見がん数		
			受診人員	発見率		受診人員	発見率
肺がん検診	エックス線	13	46,803	0.03%	22	47,309	0.05%
※1	C T	10	14,650	0.07%	12	14,737	0.08%

胃がん検診 ※2		21	31,522	0.07%	23	34,510	0.07%
大腸がん検診		150	91,564	0.16%	152	91,034	0.17%
乳がん検診	視触診＋超音波	0	50	0.00%	0	48	0.00%
	超音波単独検診	29	17,515	0.17%	24	17,561	0.14%
	マンモグラフィ	77	20,845	0.37%	54	21,021	0.26%
子宮頸がん検診 ※3		0	12,710	0.00%	0	13,403	0.00%
前立腺がん検診 ※4		28	14,808	0.19%	35	14,290	0.24%
合 計		328	250,467	0.13%	322	253,913	0.13%

※1 市町村実施の結果通知分のみ

※2 読影実施分のみ

※3 発見がん数、発見率はCIN3以上に対する値。（調査結果は2025年4月現在）

※4 2024年度調査結果は2026年4月現在

(13) がん検診の精密検査受診勧奨

伊那市の委託を受けて、各種がん検診の精密検査受診勧奨事業を実施した。

(人)

区 分		2025年度	2024年度
胃 が ん	要 精 検 者 数	35	35
	精検受診者数	25	28
	精 検 受 診 率	71.43%	80.00%
大腸がん	要 精 検 者 数	220	233
	精検受診者数	173	185
	精 検 受 診 率	78.64%	79.40%
前立腺がん	要 精 検 者 数	56	57
	精検受診者数	37	46
	精 検 受 診 率	66.07%	80.70%
乳がん（マンモグラフィ）	要 精 検 者 数	48	49
	精検受診者数	39	48
	精 検 受 診 率	81.25%	97.96%
乳がん（超音波）	要 精 検 者 数	23	17
	精検受診者数	15	17
	精 検 受 診 率	65.22%	100.00%

子宮頸がん	要 精 検 者 数	21	14
	精検受診者数	19	12
	精 検 受 診 率	90.48%	85.71%

(巡回検診分のみ記載 2026年4月現在の間接報告)

(14) 精度管理の取り組み

ア 各種委員会活動

検診・健康診断事業の実施にあたっては、次の専門委員会等において医学的事項等に関する検討、指導を受け、検診精度の向上と事業の円滑な推進に努めた。

長野県主催

- ・長野県がん対策推進協議会
- ・長野県がん検診検討協議会

長野県医師会主催

- ・がん検診検討委員会
- ・消化器検診委員会
- ・郡市医師会消化器検診委員長会議
- ・乳がん検診委員会
- ・郡市医師会乳がん検診委員長会議
- ・肺がん検診委員会
- ・郡市医師会肺がん検診担当理事会議
- ・心臓検診検討委員会

長野県健康づくり事業団主催

- ・健康診査検討委員会
- ・肺がんCT検診検討委員会
- ・大腸集団検診委員会
- ・子宮頸がん集団検診委員会
- ・マンモグラフィ検診研究委員会
- ・前立腺がん検診検討委員会
- ・健康センター専門委員会
- ・特殊健康診断検討委員会
- ・歯周病スクリーニング検診検討委員会

イ 外部精度管理調査

信頼される健診機関であるために、次の外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持に努めた。

全国労働衛生団体連合会（総合精度管理調査）

長野県医師会（臨床検査精度管理調査）

結核予防会（胸部画像精度管理研究会）

公衆衛生協会（精度管理）

日本消化器がん検診学会（認定指導施設）

日本臨床細胞学会（認定）

日本乳がん検診精度管理中央機構（マンモグラフィ検診施設画像認定）

2 情報処理等事業

(1) 特定健康診査（個別医療機関健診分）結果処理等

市町村国保が作成する特定健診受診券の発行を代行する業務や、郡市医師会が実施

している結果処理、健診費用の決済申請等の業務を市町村国保と郡市医師会から受託して実施した。

2025年度の処理件数は4月末到着時の件数であり、市町村国保と郡市医師会からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

処理件数は全体的に減少しており、4月末現在、前年度比較で2,581件減少している。

(件)

区 分	市町村国保	郡市医師会	2025年度	2024年度	前年度比較
受 託 数	40	17	57	57	100.00%
処理件数	74,471	5,439	79,910	82,491	96.87%

(2) 医療機関等実施検診結果処理

医療機関等の施設において実施した乳がん・子宮がん検診及びドック健診のデータ処理、結果通知書の作成・集計等の業務を市町村及び事業所から受託し実施した。

2025年度のドック健診の結果処理は、特定健康診査（個別医療機関健診分）結果処理等と同様に、4月末到着時の件数であり、委託元からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

マンモグラフィ検診結果処理業務を小諸市から新規で受託し実施したが、増加には繋がらず、胃内視鏡検診結果処理業務も285件の増加となつてはいるが、全体としては4月末現在、前年度比較で735件の減少となっている。

(件)

区 分		市町村数	2025年度	2024年度	前年度比較
乳がん検診	視触診・超音波	4	7,365	7,421	99.25%
	マンモグラフィ	13	6,444	6,860	93.94%
	小 計	17	13,809	14,281	96.69%
子宮頸がん検診		21	27,576	28,324	97.36%
ドック健診	ドック処理	—	8,096	8,061	100.43%
	データ作成	—	3,830	3,665	104.50%
	小 計	—	11,926	11,726	101.71%
胃内視鏡検診		16	4,610	4,325	106.59%
合 計		54	57,921	58,656	98.75%

3 健康センターにおける施設健診

長野健康センターと伊那健康センターで日帰り人間ドック等の施設健診を実施し、両健康センターの各種健診における受診者の合計数は、概ね前年並みだが、微減となった。

また、職員の効率的な活用として施設健診の職員が巡回健診を実施するとともに、巡回健診で受診できなかった未受診者の健診を健康センターで行った。

(人)

区 分	長野	伊那	2025年度	2024年度	前年度比較
生活習慣病予防健診	1,699	810	2,509	2,546	98.55%
日帰り人間ドック	2,254	2,176	4,430	4,311	102.76%
レディースドック(月2～3回)	81	9	90	102	88.24%
特定健診	14	2,274	2,288	2,153	106.27%
全国健康保険協会生活習慣病健診	3,633	1,885	5,518	5,509	100.16%
定期健康診断	4,019	1,511	5,530	5,572	99.25%
健診合計	11,700	8,665	20,365	20,193	100.85%
胸部C T (単項目)	158	1,977	2,135	2,163	98.71%
マンモグラフィ (単項目)	1,130	2,195	3,325	3,409	97.54%
乳腺超音波 (単項目)	457	391	848	926	91.58%

※2024年度からオプション+単項目の数としています。

Ⅲ 健康増進事業

1 特定保健指導事業

医療保険者からの委託により、支援対象者に対して特定保健指導を実施するため、保健師、管理栄養士が生活習慣全般の具体的な改善計画を立案し、生活習慣病の重症化予防のための支援をした。

長野・伊那健康センターでの健診当日の保健指導は、動機づけ支援では26名増となったが、全体では84名の減となった。

(人)

区 分	2025年度	2024年度	前年度比較
動機づけ支援	641	648	98.92%
健康センター健診当日	133	107	124.30%
積極的支援	815	892	91.37%

	健康センター健診当日	66	72	91.67%
	初回のみの契約	343	340	100.88%
	合 計	1456	1540	94.55%
	受託団体数	15	16	93.75%

2 健康増進事業

(1) 健診終了後の栄養・運動・保健指導事業

市町村、事業所の委託を受けて健診の事後指導等を実施し、食生活、運動及び生活習慣の改善についてアドバイスを行い、健康の維持増進を図るよう支援した。

市町村・事業所実施回数 94回（参加人数2,192人）

(2) 健康づくり教室、セミナー等への講師派遣事業

市町村、事業所等の各種健康増進事業に保健師、管理栄養士、健康運動指導士を派遣し、地域や職域の健康づくりを支援した。

派遣回数 計134回（参加人数3,344人）

- ・保健師 26回（参加人数935人）
- ・管理栄養士 37回（参加人数970人）
- ・健康運動指導士 71回（参加人数1,439人）

IV 役員会

事業の実施状況等について報告するとともに、事業計画・予算、諸規程、運営上の諸案件等について審議するため、次の会議を開催した。

(1) 第1回理事会 2025年6月4日（水）事業団会議室

会議事項 2024年度事業報告

2024年度会計決算報告

評議員会の招集

(2) 第2回理事会 2026年3月4日（水）事業団会議室

会議事項 2026年度事業計画（案）

2026年度損益予算（案）

2026年度固定資産取得予算（案）及び資産取得金積立予算（案）

諸規程の一部改正（案）

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条に基づく承認について

事務局長の選任（案）

(3) 評議員会 2025年6月24日（火）事業団会議室

(4) 会計監査	会議事項	2024年度事業報告
		2024年度会計決算報告
		理事の選任
		評議員の選任
		2025年5月30日（金）事業団会議室
		2024年度事業及び決算監査

V その他

1 県有施設の管理受託

長野県から公衆衛生専門学校（伊那市）の管理事業を8,483千円で受託した。

2 経営の取り組み

第二期短期事業計画として3年間（2年目）の詳細な実行計画を各所で定め実行管理し、健診の実施効率を高め、収支の改善を進めた。

3 リスクマネジメント活動

各所属でリスクマネージャーを選任し、かいぜんレポート・事故報告の収集と分析、業務の改善による事故等の予防のほか、安全かつ適切な健診の提供に努力した。

また、リスクマネジメント部会、事故予防対策委員会で、健診事業や事務事業の事故予防対策、改善内容の評価検討等情報の共有化に努めた。

個人情報保護管理については、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）に基づき、個人情報の適切な取扱い、保護・管理に努めるとともに、管理職、監査員、新規採用職員、パート職員等の対象職種別教育研修の実施、監査員による課・所ごとの内部監査の実施等を通じて、対応レベルの向上を図り、自覚と責任に基づき、受託先や受診者等からの信頼度の向上に努めた。

また、従来より実施しているICカードによる入退室管理に関し、機微な個人情報を取り扱うセキュリティエリアへの入退室管理を強化した。

4 公益法人としての対応

主たる公益目的事業では県民の健康づくりに寄与するために精度の高い検診と、より良いサービスの提供に努めた。

また、普及啓発事業では、結核予防会と日本対がん協会の長野県支部としての役割を認識し、正しい知識の普及や新しい情報の発信等に努めた。

5 職員研修

個人情報保護に関する研修を随時実施するとともに、県内外で開催される事業関連の学会、研修会に参加し、積極的な技術・知識の習得、情報収集をおこない健（検）診精度の向上と事業内容の充実に努めた。